

施工説明書 **施工業者様用**

直張り接着工法用
グランドフローリング
L-45(キャラクターセクション)

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いづれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよくご理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。)

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



- **屋内専用。**
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- **ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。**
床材が沈み込むおそれがありますので必ずインシュレーター等を使用してください。
- **床暖房施工禁止。**
本製品は床暖房対応の床材ではありません。床暖房の施工はしないでください。

- **油性・水性ワックスの使用禁止。**
油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。
- **自然塗装製品は水分厳禁。**
自然塗装製品をお手入れする際などに、水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。
- **モルタル下地以外の施工厳禁。**
本製品はモルタル下地専用です。合板、MDF、パーティクルボード、遮音マット等の下地や二重床・既存の床の追い張り等への施工はしないでください。実折れや割れの原因となります。



- **開梱後は換気を行なう。**
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

注意! フロアコーティングは推奨していません。

推奨ワックスをご使用ください。(フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)

施工の前に確認してください。

① 製品の確認(数量不足・損傷等)

数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認ください。当製品は木質製品です。
輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。また開梱後は速やかに施工してください。

製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

② フロアへの仮並べで色合わせ

床材は木材のため、色や木目・溝部分に多少の違いが出る場合があります。
施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。

極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。施工後のお申し出には応じかねます。

③ 指定接着剤の確認

- ウッドワン専用接着剤 [品番:ZX0211]ウレタン系一液接着剤(クジコテ同梱)
- オシカ(株) [品番:UR-145]ウレタン系一液接着剤
- コニシ(株) [品番:KU-928R]

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

施工手順

- 1 下地の確認
- 2 フロアへの割り付け・墨打ち
- 3 接着剤の塗布
- 4 張り施工
- 5 養生

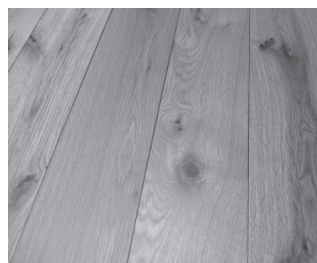
施工終了後の仕上げ

〈梅雨時期の湿度対策〉

施工現場にて開梱後は養生期間をおかずに速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

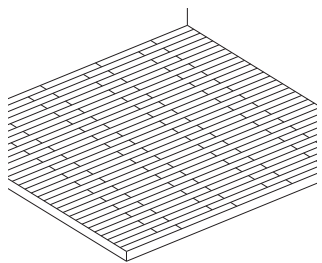
特に遵守して頂きたい施工上の注意事項

木材の特長に関する
返品・交換・張替不可



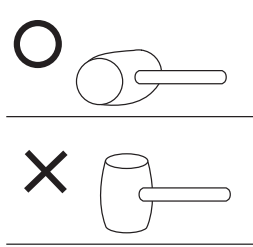
本製品は手間をかけて木材の特長(節、濃淡、割れ、パテ埋めなど)を積極的に採用したフローリングです。木材の特長に関する返品交換や張替などのご要望には対応致しかねます。

仮並べの徹底



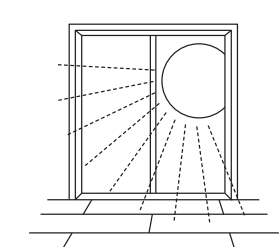
商品開梱後、必ず仮並べを行い、木材の特長がバランスよく張り上がるように施工を行ってください。気になる部位などがある場合は目立たない場所に貼って頂くか、使用しないでください。(返品対象にはなりません)

ゴムハンマーは
平使いする



本製品は艶消し塗装仕上げになります。ゴムハンマーで表面を叩くと、その部分だけ艶が高くなる場合があります。ゴムハンマーは側面を表面に当てる使い方(平使い)をお願いします。

養生での日焼け



天然木につき、日光などの光によって日焼けが発生します。養生時は床材全面が覆われるよう隅まで養生してください。

床暖房・ホットカーペットの
使用禁止

本製品は床暖房、ホットカーペット対応の床材ではありません。使用した場合、製品の性質上、木材の特長部分に割れが発生する可能性があるため、ご理解ください。

フローリングに不具合がある場合は、必ず施工前に弊社担当者か販売会社担当者にご連絡ください。

1 下地の確認

十分な乾燥の後、施工する

RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。
※屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。

乾燥の目安
打設後、夏季3週間、
冬季で4週間以上

モルタル下地の場合

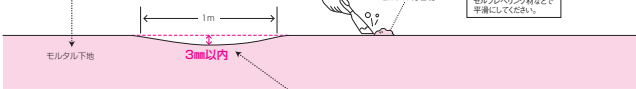
① モルタル含水率が10%以下であることを確認

含水率10%以上の場合
✕ 接着不良や床材の反り・突き上げ・変色等が生じるおそれがあります。

モルタル含水率計を使用しない場合
ビニールシート(1m×1m)でモルタル表面を覆う
布テープ止めで被覆密閉する
※油汚れは溶剤で拭き取ってください。
24時間後
表面が変色せず、ビニールシート裏面に結露が発生していないことを確認してください。

② モルタル表面の付着物の除去

除去が困難な場合
セメントペーストなどで
平準してください。



③ 部分的な起伏・モルタルの浮き・亀裂がないことを確認

不陸は1mあたり3mm以内
※これより大きくなると踏み鳴りや
接着不良のおそれがあります。

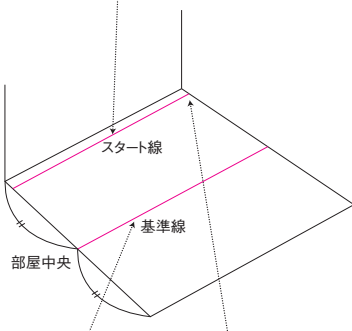
ALC(軽量気泡コンクリート)下地の場合

ALC板は表面がもろく、施工後、床材がはがれるおそれがあります。ただし、モルタル等で下地調整して下地処理を行った場合は施工が可能です。
※クッションフロアの上には施工できません。
※合板・パーティクルボード・MDF・遮音マット等の下地および二重床・既存の床への強い張り等へのご使用はできません。

2 フロアの割り付け・墨打ち

② 張り始めのスタート線を墨出し

※廊下や壁際などの隅部の納まりを考慮し、
平行移動した位置に。



① 中央に基準線を墨出し

③ 張り始めの位置を決める

※墨出したスタート線に合わせて決める。

3 接着剤の塗布

① 接着剤の塗布

当社指定のウレタン樹脂接着剤を使用

当度が低(濡れやすい)ため「不陸」段差になりやすい接着剤です。
接着剤はよく混ぜてから使用し、
塗布後30分以内に床材を施工してください。

《接着剤の塗布量》

同梱の専用クシ目コテを使用
※400~500g/m²(約30㎡/20kg缶)

✕ 専用クシ目コテを使用しない場合

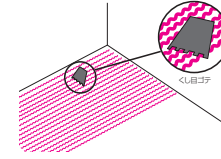
✕ 接着剤が少なすぎる
接着不良

✕ 接着剤が多すぎる
踏み鳴りやフロア表面にはみ出します。

指定以外の接着剤を使用

✕ 接着剤による段差ができ、実折れや
割れの原因となります。
※粘度が高く、床材を上から押し付けて施工しても接着
剤があまり濡れず「段差」にためた。

✕ 濡れない



※接着剤の塗布が多すぎると踏み鳴りやフロア表面へのはみ出おそれがあります。万一、表面に付着した場合には、直ちに乾いた布または溶剤等で拭き取ってください。濡れ拭き等を使用すると、硬化が進み、拭き取りにくくなります。硬化後は絶対にとれませんので注意してください。また、接着剤が少なすぎると接着不良のおそれがあります。

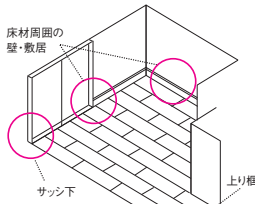
4 張り施工

※接着剤塗布後30分以内

① 壁際の納まり

床材周囲の壁・敷居・下枠サッシ下
などとの間に

巾木下隙間を3~5mm程度あける

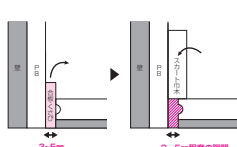


隙間なしで張り込んだ場合
✕ 吸湿した際に突き上げが起こり、
割れやすくなります。
※木質フロアリングは、水分の吸湿乾燥によって
伸び縮みするため、3~5mmの隙間が必要です。

合板やくさびで
3~5mmの隙間をつくる

床材施工後に取り除く
隙間を隠すため、巾木は後から施工してください。
必要に応じてコーキング処理を行ってください。

3~5mm厚の合板やくさび(現地調達)など
3~5mm程度の隙間を開けられない場合
床材の短辺部の長さも0.2~0.4mm程度の隙間ができるように軽く突起して施工してください。



際根太の設置

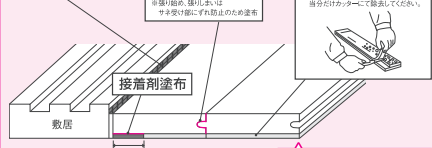
上り框、敷居等との突き付け部分には、段差・隙間が発生するのを防止するため、必ずわみ防止
止材として同梱の隙根太を使用してください。隙根太と床材は接着剤で固定してください。

《上り框、敷居等との突き付け部分》
幅91mm以上にカットした場合

2~3mmの隙間
コーキング処理

木工ボンド又は直張り
接着剤を点付け塗布
※張り始め、張り途中、
※※突き付けに必ず点付けのため注意

クッション材をカット
※フロア裏面のクッション材は隙根太相
当分だけカットして除去してください。

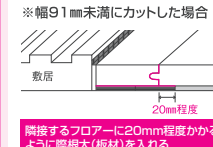


✕ 釘をカットし、
隙根太を片方のみ
入れた場合

張り始め、張りまひのサネ下部は
敷居側に隙根太を入れる

※段差・隙間の発生防止のため、必ずわみ防止材として
同梱の隙根太を使用してください。

※幅91mm未満にカットした場合



壁際の巾木の下部については、
隙根太と床材は接着剤で
固定しないでください。
隙根太の幅については、
左記と同様になります。

取付けによる床材の伸びが原因
で発生する、幅91mm程度の
隙間を開けてください。

② 張り施工

フロアの施工はゴムハンマーを使用し、フロア表面を軽く叩いて、軽く突く程度にサネ
をはめてください。不陸等によりサネが入りにくい場合には、再度、ゴムハンマーで軽く締め
直してください。
※踏み鳴りの原因となりますので釘は絶対に使用しないでください。

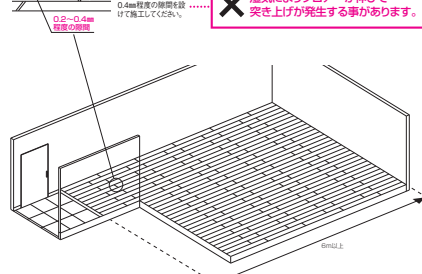
✕ ゴムハンマー使用の際は傷つにくく寄せるよう
平使いをお願いします。

2枚目以降、
ずらしながら貼り込まない

✕ 2枚目以降をずらさず貼った場合
✕ サネ部にノリがマリができて
歩行感が悪くなり、割れやすくなる

0.2~0.4mm
程度の隙間

✕ 隙間がない場合
✕ 湿気によりフロアが伸びて
突き上げが発生する事が多くなります。



5 養生

(養生期間:1週間程度)

木屑・砂・ごみを取り除いてダンボール・
ベニヤ・養生カバー等で隙間なくカバーし、
フロアが動かないように養生してください。
なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れ
ていないことを確認するとともに、濡れないよ
うな配慮をお願いします。

別売の養生テープ
(ZY0211)を使用

✕ 市販のガムテープ・粘着力の強い
養生テープを使用した場合
✕ 塗膜の割れが原因になります。

✕ 市販のガムテープ等は

養生期間中、履房機器の使用不可

✕ 履房機器を使用した場合
✕ フロアのサネ接続部の隙間発生
などの原因に。

フロア面に養生テープを貼られた場合の養生テープのはかし方

床面と平行にゆっくりと剥がす
✕ 床面と垂直に剥がす
※製品表面の塗膜損傷を
おこすおそれがあります。

施工終了後

汚れ落とし

ほこり、小さな汚れを乾いた布で拭き取ってください。水拭き
を行ったり裏面に割れが発生することがありますので、建
ててしばらくは、内装のほこりや汚れは、水で洗った中
性洗剤を少量を薄く伸ばしてから拭き取ってください。

塗装作業上のお願

塗装業者におかれましては、下記の点およびワックス塗布の注意事項について十分注意して作業してください。
※フロア表面に、水や洗剤を垂らさないでください。変色や、床材の変質(割れ)の原因になります。
※ポリッシュは塗るタイプのものはご使用しないでください。表面のキズの原因になります。

※ワックスやお手入れに関しては別冊の「お手入れマニュアル」をご参照ください。